

平成28年度第2回 白井市子ども・子育て会議
 摘録

| | | |
|---------|--|---|
| 会 議 名 | 平成28年度第2回白井市子ども・子育て会議 | |
| 日 時 | 平成29年2月28日(火) 午後2時から午後3時30分まで | |
| 場 所 | 保健福祉センター 2階 研修室2 | |
| 出席者氏名 | 委 員 | 風間会長、内本委員、菅森委員、宮根委員、田村委員、桑原委員 近藤委員、鈴木委員、畠田委員、木村委員、鈴木委員、 森委員、橋口委員(13名) |
| | 事 務 局 | 健康福祉部 子育て支援課 加藤課長、寺田副主幹、須藤主査補 保育課 片桐主査 健康課 中島主査、篠田主任保健師 (6名) |
| 欠席者氏名 | 鳥海委員、高橋委員、駒村委員、嶋本委員、植本委員 (5名) | |
| 傍 聴 者 | 1名 | |
| 次 第 | 1. 開 会 2. 会長あいさつ 3. 副会長の選任について 4. 議 題 (1) 白井市子ども・子育て支援事業計画平成27年度実績報告について ○白井市子ども・子育て支援事業計画 ○白井市次世代育成支援地域行動計画 ○白井市母子保健計画 (2) 子ども・子育て支援事業計画における保育量の確保方策の修正について (3) 待機児童対策に係る私立保育所等への補助金について (4) 小規模保育事業所(白井ふたば保育園)の認可・確認について (5) その他 5. 閉会 | |
| 議 事 内 容 | 次ページ以降の通り | |

(会議を始める前に資料の確認・修正・追加と共に、資料 4-4 の回収について了解を得た。)

議 事

1. 開会

2. 会長あいさつ

3. 副会長の選任について

議 長：副会長の選任について、立候補していただける方はいませんか。

いないようなので指名させて頂くことでよろしいでしょうか。

事務局からの提案はありますか。

事務局：学童保育連絡協議会の田村明日香様に副会長をお願いしたいと思います。

(拍手全員)

議 長：ありがとうございます。田村さんよろしく申し上げます。

4. 議題

(1) 白井市子ども・子育て支援事業計画平成27年度実績報告について

●白井市子ども・子育て支援事業計画

議 長：事務局からの説明を求めます。

(事務局より趣旨説明)

子ども・子育て支援事業計画は子ども・子育て支援法に基づく計画で、「子ども・子育て支援給付」と「地域子ども・子育て支援事業」の量の見込みと確保方策について定められております。今回が初めての実績報告になります。

議 長：議案に対する質疑はありますか。

委 員：27年度2号認定、3号認定はニーズに対し確保量が足りないということですか。

事務局：こちらの結果については、定員が確保量ということになっています。実際の受け入れは、職員の配置基準と児童一人当たりの面積基準を満たした場合は、一定の受け入れ枠が増やせることになっており、受け入れ枠は、982人の枠があるため、その差は約100人となります。

委 員：100人が入れないということですが、そこには育休明けの方も含まれていますか。年度途中の入所についてはどのように考えていますか。

事務局：含まれます。

委 員：私の職場にも育休明けに保育園に預けることができず困っている人がおり、育休復帰への対策は何かされる予定はありますか。

事務局：原則として育児休暇中は保育事由に該当しませんが、上の兄弟が保育園に在園している場合は育休取得から1年間までは継続利用を認めています。この1年というのは他の待機児童とのバランスを考慮したものです。しかしながら、前回会議でもご指摘いただいているように職場復帰の意志がありながら、第2子が保育園に入園できないために職場復帰できず上のお子さんも退園せざるを得ない状況も生じており、まず、最優先に取り組むべきは受入枠の拡大と考えておりますが、1年の継続を利用を年度末まで延長したり、現在、国も予約制度等を検討しているようですので、市としてもその動向等を確認しながら引き続き検討していきます。

議 長：他にありますか。

質疑はないようです。

では白井市次世代育成支援地域行動計画に移ります。

●白井市次世代育成支援地域行動計画

議長：事務局からの説明を求めます。

(事務局より趣旨説明)

「次世代育成支援対策支援法」第8条で定める「市町村行動計画」に位置付けられた計画です。具体的には75事業について進行管理を報告するものです。

議長：何か質問はありますか。

順調、おおむね順調はどこで判断したのですか。予算を参考としたのですか。

事務局：順調は80%以上、おおむね順調は79%以下50%以上、やや遅れているは49%以下20%以上、遅れているは19%以下として、担当課で判断いたしました。予算執行状況で判断はしていません。

委員：No.55赤ちゃんと触れ合う機会の提供、優先度は「やや高い」なのに、進捗状況は「やや遅れている」となっていますが、理由は何かありますか。

事務局：児童館で実施している事業です。担当課としては優先順位は高いものと判断して事業を実施していますが、事業への参加者が少ないことから、やや遅れているとして評価しているものです。

議長：他にありますか。

質疑はないようです。

では白井市母子保健計画に移ります。

●白井市母子保健計画について

議長：事務局からの説明を求めます。

(事務局より趣旨説明)

市の母子保健計画は平成17年度に策定された「しろい子どもプラン～次世代育成支援地域行動計画～」に統合され、「しろい子どもプラン～子ども・子育て支援事業計画」に内容を引き継いでいます。

議長：何か質問はありますか。

質問はないようです。

議長：「白井市子ども・子育て支援事業計画平成27年度実績報告について」承認することに賛成の方は挙手をお願いします。

(挙手全員)

議長：「議題(1)白井市子ども・子育て支援事業計画平成27年度実績報告について」は原案のとおり承認しました。

(2) 子ども・子育て支援事業計画における保育量の確保方策の修正について

議長：事務局からの説明を求めます。

(事務局より趣旨説明)

- ・教育・保育の確保方策については、地域型保育事業(小規模保育事業)を減らし、既存の保育園の枠を拡大したため、それに伴う受け入れ人数の変更をしました。
- ・時間外保育事業は量の見込み「年間実利用人数」に変更するものです。
- ・放課後児童健全育成事業は、現状の人数・施設に合わせ修正するものです。
- ・一時預かり事業は、国の基準に基づき計算されたものでしたので、実績値に、修正するものです。
- ・ファミリー・サポート・センター事業は、量の見込みが年間延利用人数としています

が、表記の人数は登録人数なので、年間延べ人数に修正するものです

議長：何か質問はありますか。

委員：一時預かり事業について、平成25年度は実人数に変更するということですが、平成27年度からの計画については実人数に合わせて変更しないのですか。

事務局：実測値に即した数字にするか、国の基準に合わせた数字にするか、検討をしたところであり、検討すべきところと思いますが、今回は計画部分に変更せずに提案しました。

事務局：確保の方策について当初14カ所で計画しましたが、当時より保育士不足がかなり深刻になっており、一時保育よりも通常保育の枠の確保が優先となっています。今後は実測に合わせた変更についても検討していきます。

議長：他に何か質問はありますか。

質問はないようです。

議長：「白井市子ども・子育て支援事業計画における保育量の確保方策の修正について」承認することに賛成の方は挙手をお願いします。

(挙手全員)

議長：「議題(2)白井市子ども・子育て支援事業計画における保育量の確保方策の修正について」は原案のとおり承認しました。

(3) 待機児童対策に係る私立保育所等への補助金について

議長：事務局からの説明を求めます。

(事務局より趣旨説明)

既存の保育園での定員を拡大し、必要な保育量を確保するため、私立保育園等に対して3つの補助を行うものです。

議長：何か質問はありますか。

質問はないようです。

議長：「待機児童対策に係る私立保育所等への補助金について」承認することに賛成の方は挙手をお願いします。

(挙手全員)

議長：「議題(3)待機児童対策に係る私立保育所等への補助金について」は原案のとおり承認しました。

議長：「議題(4)小規模保育事業所(白井ふたば保育園)の認可・確認について」は、私の事業に関わる議題となりますので退席します。

議長は 田村副会長をお願いいたします。

(会長が退席し、副会長が議長を行う。)

議長：風間会長に代わり議長を務めさせていただきます。

(4) 小規模保育事業所(白井ふたば保育園)の認可・確認について

議長：事務局からの説明を求めます。

(事務局より趣旨説明)

平成29年4月に、白井幼稚園の敷地内に定員18名の小規模保育所(白井ふたば保育園)の開設を予定しているため、認可(児童福祉法)・確認(子ども・子育て支援法)について意見を聞くものです。

議長：何か質問はありますか。

委員：申請地には既に白井幼稚園と、こぞくら保育園がありますが、新たに建築されるのですか、それとも現在の施設を利用するのですか。

事務局：新築になります。1階部分がふたば保育園、2階部分は白井幼稚園の利用となります。

委員：ほふく室と乳児室はそれぞれ設置されていなくてもいいのですか。

事務局：ほふく室と乳児室は同じ面積基準であり、兼ねられることになっています。

委員：保育士が増えれば定員以上の受け入れができますか。

事務局：今回の計画につきましては、面積基準的にも最大の定員となっていますので、保育士が増えてもこれ以上の受け入れはできません。

委員：3歳児以降の受け入れ先はあるのですか。

事務局：今回の申請は、こぞくら保育園、白井幼稚園という3歳児以降の受け入れ先としての連携施設を確保しているため問題ないと考えます。

委員：ふたば保育園に入園した児童は必ず、連携施設に入園できることになるのですか。

事務局：今回二つの連携施設を設定していますが、保育園と幼稚園では、制服が必要だとか入学金などの制度が違うため、どちらか片方に希望が偏ることも想定されます。それぞれ3枠ずつを確保していますが、希望が偏ったことにより希望する連携施設に入れない場合は、3歳児になるときの転園として地域型保育を利用していた児童には加点をし、転園できるような配慮をしています。

議長：他に質問はありますか。

質問はないようです。

議長：「小規模保育事業所（白井ふたば保育園）の認可・確認について」承認することに賛成の方は挙手をお願いします。

（ 挙手全員 ）

議長：「議題（4）小規模保育事業所（白井ふたば保育園）の認可・確認について」は原案のとおり承認しました。

議長：「議題（4）小規模保育事業所（白井ふたば保育園）の認可・確認について」の審議が終了したので、風間会長に議長をお願いします。

（田村副会長自席へ 風間会長入場 議長席へ）

議長：最後の議題になります

（4）その他について

（担当課より説明）

・第1回の会議で委員の皆様からご提案いただいた、ドリームチャレンジャー事業の学童保育所等への出張事業は、1月に第二小学校の放課後子ども教室で「囲碁」が行われ、3月に第一小学校で「ラグビー」が実施予定となっています。ご提案いただきありがとうございます。

・次回の本会議の開催は、平成29年10月ごろを予定しています。

委員：ドリームチャレンジャー事業の現在参加率を教えてください。

事務局：2月7日現在、コイン利用率、4.6%参加率 13.4%になっています。事業は3月末までです。

委員：ドリチャレ事業は平成29年度も実施するのですか。

事務局：実施予定です。事業を始める時期としては7月ごろになります。

事務局：第5次総合計画では5年間の計画になっております。参加率が上がる良い方法を考えながら事業を進めていきます。

委員：大山口学童保育でも3月にカーピングを実施します。3年生以外は有料になってしまったりとか、学童保育は人数が多いので、初体験ぐらいで教えてもらいたいという希望があっても、サポーターの方は教えるならしっかり教えたいというのがある。その辺で上手く繋がらない事がありました。3年生の保護者から1枚も利用できなくて残念だった

ことを聞いています。指導員の方でも活用の仕方を考えていきたい。

事務局：これからも、サポーター・学童保育所・子どもたちが利用しやすい方法を考えていきます。

事務局：地域とのつながりを進めるということで 37 の団体が登録しています。3年生を対象にしていますが、他の学年も利用しており、これからも利用しやすい方法を考えていきます。

事務局：白井市子ども・子育て支援事業計画にある定員の増員については、概要を3月15日号広報しろいでお知らせするほか詳細を市ホームページでお知らせしていく予定です。

議長：そのほかありますか。

無いようです。

本日は長時間にわたりご審議ありがとうございました。

(資料4-4を回収)

4. 閉会

(終了)